

01 目的

社員および家族の健康、即ち、積極的に挑戦する「やる気」、心身ともに健康で、明るくいいきと活力に満ちた「元気」、そして、真剣に取り組む、最後までやり遂げる「本気」で仕事に取り組める状態を保持・増進し、「幸せに生きる(Well-being)」ことを実現し、業績や企業価値の向上を目指す。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果



課題：① 従業員のパフォーマンス向上

健康経営で解決したい経営上の課題	社員および家族の健康を保持・増進すると共に、「Well-being」すなわち、「幸せに生きる」ことを、働きがいの向上を通じて実現し、業績や企業価値の向上を目指す。
健康経営の実施により期待する効果	トッパンは従業員を会社の貴重な財産として「人財」ととらえている。全ての人財がWell-beingな状態で業務に取り組むことでイノベーションを産み出し、企業の成長、引いては社会全体の価値創造に繋がることを期待している。

自社従業員(組織)の課題と目標



●重点課題1



⑬ 女性特有の健康関連課題等の健康保持・増進に関する課題

課題内容

多様な人財が長く働き続けられる会社作りを目指す中で、女性従業員比率、勤続年数も伸びており、女性特有の健康関連課題にも関心が高まっている。女性の特有の健康課題に対するリテラシー、早期発見、早期治療を促す施策の重要性が高まっている。婦人科検診後に癌も見つかっており、早期発見・治療が重要となっている。

目標

婦人科検診受診率

	数値	年度
目標値	75%	2030



⑬ 生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容

これまでも重症化予防については施策を展開してきたが、定年年齢を引き上げや、スピード感を持った事業展開の必要性等から、健康に働き続けられる、生産性の高い職場の実現は持続的な成長に欠かせない。それに向け、疾病の早期発見、早期治療、重症化予防に向け一層の取り組みを行いたい。

目標

肥満リスク・高血圧リスク・糖尿病リスク・脂質リスク

	数値		年度
目標値	肥満リスク 22.0%	高血圧リスク 8.5%	2025
	糖尿病リスク 8.5%	脂質リスク 31.0%	

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

従業員や家族の健康促進だけでなく、社会価値創造企業として、健康に関する事業が生み出されており、その展開に当たって、社内での取り組みが参考となっている。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>



月経随伴症状や更年期障害など、女性特有の健康課題に関するセミナーを健康経営やD&Iの推進を担う担当者を中心にテスト実施し、全社展開に向けた課題を抽出した。また、婦人科健診の受診率向上に向けた施策を継続実施している。

婦人科検診受診率

	数値	年度
取組前実績値	63.4%	2020
現在の実績値	79.0%	2021

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	Health Literacy Up Dates 2022 女性特有の健康課題編
内容	トッパングループ健康保険組合の健康運動指導士によるストレッチ講座と女性産業医による女性特有の健康に関する講義を組み合わせた独自のセミナー。現状をよく知る当社の女性産業医によるセミナーで、女性の健康課題とセルフケアの基礎知識を学ぶ。
導入時期	2022年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに知る情報があった:89.2% ● 満足度:78.4%が大変満足・満足と回答 ● テスト実施の段階で、女性の参加者が大半を占めたセミナーだったが、新たに知る情報があったとの回答率が高かったため、幅広い範囲に女性特有の健康課題の理解促進を図るうえで欠かせないと感じたため、外部のサービスを含めて検討中。

具体的な実践内容2

分類	自社組織
名称	婦人科健診の受診勧奨
内容	婦人科健診の受診勧奨
導入時期	2021年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期健診時に婦人科検診も実施するよう事前に計画し、できない事業所は、代行機関を利用し希望する健診施設での受診手配や窓口負担した費用の事後精算を実施。これらの活動の継続により、健康経営のKPIとして定めていた婦人科健診受診率は前倒しで達成。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	女性特有の健康課題については、ダイバーシティ推進の観点から、女性のみについて話を展開することが難しい側面もあり、特に更年期については、男性の症状も含め、教育が必要と感じている。
今後取り組みたい施策の課題	健康経営に対する投資額の的確な把握、ヘルスリテラシーの測定方法の特定、禁煙施策のさらなる展開。

●施策内容<重点課題2>



健保直営診療所からの健診フォローを実施。高血圧症と糖尿病の高値で未治療者に対して通院確認をし受診勧奨を行う。

肥満リスク・高血圧リスク・糖尿病リスク・脂質リスク

	数値		年度
取組前実績値	肥満リスク 27.8%	高血圧リスク 11.9%	2020
	糖尿病リスク 10.4%	脂質リスク 32.2%	
現在の実績値	肥満リスク 27.5%	高血圧リスク 11.3%	2021
	糖尿病リスク 10.3%	脂質リスク 31.1%	

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	ウォーキングアプリaruku&
提供元社名	株式会社ONE COMPATH
内容	スマホの歩数計データを利用して簡単に社内ウォーキングイベントを開催でき、リアルタイムに反映される個人・部署ランキングを常にスマホでチェック!上司や同僚とランキングを競いあうことで社内イベントが盛り上がりやすくなります。
導入時期	2018年
選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 効果 ● 社名・ブランド ● 機能・性能 ● 使いやすさ ● 実績 ● 評判 ● サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	-

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	とどくすり薬局(凸版印刷グループ)
内容	Webサイトから調剤や配達に必要な情報を薬局に送信することで、電話やオンラインによる服薬指導を受けられ、送料・サービス料無料で医薬品を自宅で受け取ることができるサービス
導入時期	2021年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍の中、対面が難しい場面もあり電話やオンラインによる服薬指導並びに処方薬配送は従業員への重症化予防における健康管理においても重要な役割を果たした。また、一部地域においてコンビニエンスストアでも受け取ることができるようになりサービスの向上につながっている。

具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	重症化予防対策
内容	健診結果(e-GFR、尿蛋白)よりハイリスク者を重点的に、通院確認や各種保健指導、栄養指導等を行っている。
導入時期	2017年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象者96%が維持・改善している。 ● 将来人工透析にならないよう現状維持・改善をはかっている。